



2022年3月24日

各位

上場会社名 J. フロント リテイリング株式会社  
 代表者 代表執行役社長 好本 達也  
 (コード 3086 東証、名証第一部)  
 問合せ先責任者 財務戦略統括部  
 I R 推進部長 稲上 創  
 (TEL 03-6895-0178)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

2021年12月28日に公表した2022年2月期通期の連結業績予想につきまして、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。  
 なお、本業績予想の修正に伴う1株当たり年間配当予想29円(期末配当予想15円)の変更は予定しておりません。

記

### ●業績予想の修正について

2022年2月期通期連結業績予想数値の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	総売上高	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	922,000	357,500	12,000	5,500	2,000	1,000	3.82
今回発表予想(B)	875,000	331,000	11,500	9,200	6,000	4,000	15.28
増減額(B-A)	△ 47,000	△ 26,500	△ 500	3,700	4,000	3,000	11.46
増減率(%)	△ 5.1	△ 7.4	△ 4.2	67.3	200.0	300.0	300.0
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	769,453	319,079	2,366	△ 24,265	△ 28,672	△ 26,193	△ 100.03

- ※1. 総売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」と「その他(大丸興業)」の消化仕入取引を総額に、「SC事業(パルコSC)」の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しています。
- ※2. 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出し、営業利益は事業利益からその他の営業収益及びその他の営業費用を加減算して算出しています。

### 修正の理由

当期の連結業績予想について、前回発表予想値(2021年12月28日公表)に対し、総売上高、売上収益、事業利益は減少、営業利益、税引前利益、当期利益は増加の見込みです。主な理由は以下の通りです。

- ①総売上高及び売上収益の減少
- 年明け以降の新型コロナウイルス感染再拡大を受け、百貨店・PARCOの主要店舗所在地において、まん延防止等重点措置が実施されたことなどから、1月以降、入店客数、売上及び店舗賃貸収入が大きく下振れました。
  - この結果、総売上高は約470億円、売上収益は約265億円、前回発表予想値から減少する見込みです。
- ②事業利益の減少
- 売上収益の下振れを踏まえ、販管費の抑制などに努めましたが、事業利益は前回発表予想値から約5億円減少の約115億円となる見込みです。
- ③営業利益の増加
- 固定資産の売却及び2022年1月6日に公表した株式会社ディンプルの一部株式譲渡に係る株式譲渡益の増加等により、その他の営業収益が前回発表予想値から約40億円増加する見込みです。
  - この結果、営業利益は前回発表予想値から約37億円増加の約92億円となる見込みです。

以上の結果、親会社の所有者に帰属する当期利益は前回発表予想値から約30億円増加の約40億円となる見込みです。

### (将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上